



# 酒井茂の県政だより

Vol.7

発行責任者:酒井 茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606

## 県議会 6月定例会 一般質問(6月30日)

### I 介護人材の確保

#### 介護職に対する理解の向上

介護職は人に関するサービスを提供する仕事で、仕事を通じて学び続けることが必要な「知的労働」と考えている。

Q:介護職という職業を、どのように捉えているのか?

知事:人と人との触れ合いによって支えられている、未来にわたって重要な職業。

Q:介護職のイメージアップや正しい理解を促進するために、具体的にどのような施策を進めるのか?

知事:介護職のやりがいや社会的な意義を情報発信する。またキャリアアップへの支援や子育て支援などを通じて、職員が生き生き働くことのできる環境づくりを進める。

#### 介護人材の確保策

介護人材の確保が厳しくなるため、確保のための施策の充実が不可欠。県としても更に有効な施策を行うことが求められている。

Q:介護人材の確保に関する施策の今後の方向性は?

知事:平成26年度と今年度の予算の比較では、2.6倍と大幅に増額。今後は就職の促進、職員の資質の向上、



食事介助の様子(市内の介護老人保健施設にて)

定着の支援等の取り組みを進める。予算の確保にも配慮しながら、多くの人材を養成していく。

#### 具体的な施策

Q:県立高遠高校と介護施設が地域福祉推進の連携協定を締結したが、事業の実施に伴う費用に対して、県が財政的な支援を行うべきではないか。

健康福祉部長:このような事業を行う介護施設に対しても支援していく。

### II 学びの改革

※「学びの改革」とは?

少子化が進み社会が劇的に変化している中で、より良い高校教育を保障するため、教育内容の充実と高校の再編を進める改革



### 高校再編

Q:現行の「第1期再編計画」を踏まえて、次期計画はどのように進めるのか。また、現行の計画を進めてきた中で「学びの改革」に生かすべき課題は何か?

教育長:第1期では、総合学科高校や多部制・単位制高校等、新たなタイプの高校を設置した。第1期は個別の高校を対象としたが、今回は地域の高校全体を総合的に検討する。社会の変化が激しいこれからの時代に向けて、学びのあり方を改革することが大きな特徴。

Q:県では、平成30年度以降「学びの改革実施方針」に則り、旧通学区ごとに検討を進め「まとまったところから再編計画を策定する」としているが、「まとまった」とは具体的にどのような状況か?

教育長:今後高校の将来像をどうするか検討する「地域協議会」のような組織が立ち上がり、地域の総意となるような議論が展開されると思う。地域内で高校再編の方向性に関する一定の合意形成が図られた状況を「まとまった」状況と想定している。

### 探究学科

グローバル社会の中でリーダーとして活躍する人材を育成することが要求される。また長野県では医師が不足しているため、医学部への進学を目指す生徒の学習機会を保障する必要がある。ものづくりや観光など県の産業を担う人材を育成してい

く必要もある。

Q:「探究学科」を設ける場合同一校に理数系と人文社会系の両方の学科又はクラスを設置することが、保護者や生徒のニーズに合致すると考えるか?

菅沼教育次長:飯山高校や大町岳陽高校も両系統を設置する。松本県ヶ丘高校は2年進級時に自然科学系の自然探究科と人文社会科学系に分かれる。今後増やしていく。

※「探究学科」とは?

学ぶ意欲が高く、より深い学びを志向する生徒が、十分に学びを深めることができる学科

## 文教企業委員会

### 教育委員会関係

#### ●教師の負担軽減について

Q:教師が忙しすぎて余裕がなく、子ども達に対して良い教育ができない。違法行為を行う教師が多いが、ストレスが原因である場合も多いと考えられる。教師の負担軽減が図られなければ、違法行為は根絶できないが、そのための対策は?

A:6月補正予算で「教職員の長時間勤務の改善」に係る予算を計上しており、具体的な取組を進める。



Q:医学進学課程を意識した理数系の探究学科又はクラスの設置を、各通学区に1カ所程度設置することが必要と考えるか?

菅沼教育次長:各通学区の学科設置については、地域全体の今後の教育を考える中で検討する。

Q:将来の県の産業を担う人材を育成するための専門的な学科の配置が重要であるが、今後どのように学科や専門学科に係る高校を再編しようとしているのか?

菅沼教育次長:単独の専門高校であっても学科間の関連性に配慮しながら学科を統合したり、総合技術高校や総合学科高校の設置を検討する。

### 議会傍聴ツアー

にご参加ください

議会の年4回の定例会で、毎回一般質問を行っています。県民の声を県政に伝えるには、何と言っても一般質問が一番重要です。その都度議会傍聴バスツアーを実施していますので是非ご参加ください。

酒井茂事務所

☎七三・五六〇六



平成29年6月の参加者